

## 受験は自分との戦いだ。

京都大学 工学部物理工学科合格（京山中学校、横井小学校出身）

一浪して京都大学に受かった〇〇です。現役の時失敗したことや浪人していたときにやってよかったことを中心に紹介したいと思います。

### \*全体的な勉強について

やってよかったと思うことは8つあります。1つ目は、定期考査でよい点を取ることです。定期考査で点が悪い教科は基礎がないのでやはり伸び悩みます。2つ目は、一生懸命勉強したことです。勉強にもやり方があり、能力の側面もありますが、現役のときの僕みたいにやり方を間違えなければ基本的に勉強は努力した分だけです。3つ目は、三年生になる時期にギアを上げて勉強したことです。凡人は、天才に夏過ぎから追いつかれます。ちなみに僕は、現役のときは最後まで成績は下がりはしませんでした、上がりもしませんでした。（量はやっていましたが、やり方のせいで伸び悩んだ。）4つ目は、塾に行かなかったことです。塾では分かることも分からないことも教わりませんが、塾に行かないと自分のペースで自分の苦手なところを勉強できます。5つ目は、学校にできる限り残って勉強したことです。他の人が一生懸命勉強するのを見ることで、「自分も頑張らなければ」という気持ちになれます。6つ目は、浪人を始めるときに自分のだめだったところを見つめなおして勉強のやりかたを変えたことです。僕のように成績が伸び悩むのには何か理由があるはずですが、伸び悩む理由について面と向かって考え是正しなければ、一年たっても同じ結果になります。最初は、勉強についての本を読むなどして勉強のやり方について考えるのも良いと思います。7つ目は、浪人時にライバル（理二に受かった□□君）の隣の席で勉強できたことです。自分より少し成績がいい人の隣で勉強すると、刺激になりますし、勉強方法も参考になります。成績が負けたら悔しいし、勝ったらうれしいです。ライバルの存在は、勉強のモチベーションを保つのにとてもいいと思います。8つ目は、授業最優先で勉強に取り組んだことです。理系教科だけでなく、文系教科もしっかり勉強できます。

よくなかったと思うことは5つあります。1つ目は、本質的な勉強していなかったことです。公式の成り立ちについてや公式の適用条件について理解しなければ、難しい問題は解けません。2つ目は、赤本に取り組み始めるのが遅かったことです。赤本は、三年生の夏ごろには始めるべきです。自分の実力と過去問の差について早めに考え、特に問題が難しい超難関大の入試は、日頃の授業などの問題演習では対応できないので、自分でしっかりと対策すべきです。ちなみに僕は現役のときセンター試験の少し前までほとんど赤本に手を付けていませんでした。そのせいで対策が遅れ、京大入試に慣れないまま入試に突入しました。3つ目は、実力考査や定期考査で点を取れていることに満足していたことです。実力考査で基準点に達していても正直に言って現役のときは実力が足りていませんでした。学校の判定基準も大切ですが、冠模試の判定も大切です。僕は京大の物理工の基準点59に対して現役のとき基準点61.5でしたが、京大の入試には、問題が例年よりかなり難しく歯が立ちませんでした。特に僕のように理系で社会が得意な人は、基準点が高く見えるので注意が必要です。4つ目は、勉強を雑にやっていたことです。問題や模試を解きっぱなしにしていたのですが、それでは実力はほとんどつきませんでした。問題を多くとくことも大事ですが、何よりも大事なものは、解いた問題からできるだけ多くのことを学ぶことです。答えを見て納得するだけでなく、その解法になる理由を考えたり、疑問点を先生方に質問に行き、疑問をすべて解決することが大切です。5つ目は、努力することを努力していたことです。努力をするということは、ただ時間をかければ努力をしているから大丈夫ということではなく、努力の質を上げるのも努力のうちであることを浪人してから知りました。

＊この受験記を通して伝えたいこと

僕がこの受験記を通して伝えたいことは、成績は伸びるものではなく、伸ばすものであるということ、〇〇大学に受かるために成績を伸ばしたいと強く願いそのために正しいやり方で努力をし続けること、一問一問を丁寧に解き、その一問を一般化するとどうなるか、その一問から学べることは何か、を考え続けるということが大切だということです。(一般的には当たり前だと思いますが) 伝えたいことを全部伝えようと、こんなに長い文章になってしまいました。全員勉強のやり方は違いますし、何が絶対ということもありません。僕はこの1年間で上に書いたような方法で勉強しかなり成績が伸びました。(浪人期間の間はA判とB判しか取ったことがなく東大模試にも名前が載ることもあったほど成長しました。) 僕のつたない文章を最後まで読んでくださった皆さんの助けに少しでもなれば幸いです。受験勉強で不足する部分は自分の性格の勉強に向かない部分もかなり影響します。僕の場合は、性格的によく言えばおおらか、悪く言えばおおざっぱな部分が受験には不向きで、その部分を克服することに、受験に失敗したことをきっかけにひたすら向き合った1年でした。浪人生というプレッシャーをどう克服してテストで自分の持てる力を出すのかを考え、自分と戦った1年でもありました。自分の目標を達成するために自分の弱点と戦ってみてください。みなさんが自分の目標を達成することを願っています。最後に朝日高校の先生方には大変お世話になりました。僕の合格は、この朝日高校の学習環境があつてこそ成し遂げられたと思います。本当にありがとうございました。